

## 気象研究ノート第229号 「高層気象観測の発展と現状」発刊のお知らせ

気象研究ノート編集委員会

気象研究ノート第194号「気象測器－高層気象観測篇」が1999年4月に発行されてから、既に約14年が経過した。この間、第194号で報告された「業務用ゾンデ：RS-91型レーウィンゾンデ」が、2010年3月までにRS92-SGP型GPSゾンデへ移行した。また、「光を用いた能動型測器：ライダー」についても、空港気象ドップラーライダーが2007年4月に東京国際空港（羽田空港）に設置され運用を開始している。このような気象業務における観測方法の急速な変遷に対応し、ラジオゾンデとライダーを中心に報告することが、今回の気象研究ノート「高層気象観測の発展と現状」の目的である。

### 【目次】

第1章 高層気象観測の意義と歴史……………水野 量
第2章 ラジオゾンデ観測
2.1 ラジオゾンデ相互比較観測
2.1.1 ラジオゾンデ相互比較観測の意義 ……………能登美之
2.1.2 RS-91型レーウィンゾンデと RS92-SGPJ型GPSゾンデの 比較観測と検証結果 ……………古林絵里子
2.2 オゾンゾンデ ……………宮内誠司・安達正樹

2.3 ゴム気球搭載用水蒸気計 ……………杉立卓治・藤原正智
2.4 ラジオゾンデ観測における諸問題 ……………脇野定則・松元 誠・片野信行
第3章 ドップラーライダー観測
3.1 ドップラーライダーの概要と種類 ……………水谷耕平・石井昌憲
3.2 高層気象台のドップラーライダーで 観測された下層風の事例 ……………森 一正
3.3 北大低温研のドップラーライダーで 観測された大気現象の解析事例 ……………藤吉康志・藤原忠誠
第4章 水蒸気ラマンライダー…酒井 哲・永井智広
第5章 オゾンライダー……………中里真久・永井智広・ 酒井 哲・内野 修
第6章 高層気象観測によって得られた 高層の大気の構造と特性……………岡林俊雄
第7章 気象衛星画像による上空の大気の解析 ……………鈴木和史

【編集】水野 量・上窪哲郎・定村 努
B5判 192ページ、2014年2月発行
【価格】会員：2,700円、会員外：4,000円